

# これからのロータリーを考える

## ～本年度RIテーマと地区活動方針について～

2022（令和4年）年8月1日

国際ロータリー第2790地区ガバナー小倉純夫（松戸RC）

### 1 本年度RIテーマと地区活動方針について

- ・2022年度RI会長ジェニファー・ジョーンズ氏(RI初の女性会長)は、本年度テーマをIMAGINE ROTARY (イマジン ロータリー)として、「より良い未来をイマジン(想像)し、世界により良い変化を！」と呼びかけた。これを受けて本年度地区スローガンとして次のとおり決定。

「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えてゆこう！」

- ・従来考えていた地区スローガン「ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界で良いことをしよう！」は、第2スローガンとする。

ロータリーの基本は親睦(fellowship)と奉仕(service)

### 2 ガバナーの任務・役割について

- ・クラブの活性化, 元気なクラブ作りの支援に尽きる→その為のDLP, CLPの活用→クラブ, 会員が主役→クラブの課題とその分析→解決策の検討(ビジョンと行動計画)
- ・グループ再編問題, ガバナー補佐任命問題を通じて考えたこと  
地区とクラブとのコミュニケーションの在り方, 信頼関係の再構築  
職業奉仕の大切さ(四つのテスト), クラブの例会における親睦活動の大切さの再確認  
例会は心のオアシス(佐藤千寿氏)
- ・コロナ禍の中でのロータリー活動(パンデミックの教訓)  
2年半に及ぶ新型コロナウイルスの感染拡大→収束の見通し立たず(第7波の到来)  
→クラブ例会・行事等の中止(又はオンライン化)→親睦奉仕活動の停滞, 会員の減少  
→最近の感染者激増→コロナとの共生(会員の支援例会・親睦活動の在り方の再検討)

### 3 ロータリーの歴史を振り返る

- ・1905年→親睦と相互扶助から出発(一業種一会員制)→社会奉仕の考え→四(五)大奉仕へ
- ・ロータリーとは、職業倫理を重んずる実業人, 専門職業人の集り(ロータリーの友6頁)
- ・ロータリーの目的, 理念→「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し, これを育むこと」「奉仕の理念」とは→他人を思いやり, 他人の為になることをしようとする考え方 セントルイス大会決議 23-34 ロータリーの奉仕の基本理念の確立
- ・ロータリーの魅力とは、一つの人生哲学「入りて学び出でて奉仕せよ」(Enter to Learn, Go forth to Serve)  
例会(親睦) →出合い, 交流(切磋琢磨) →人間としての成長=信用→安定した経営奉の実践

- ・日本のロータリーは周回遅れか？（ガラパゴス化）  
Vocational Service（職業奉仕）に対する考え方の違い⇔「奉仕の理念」

#### 4 ロータリーの変化とその対応

- ・2001年：一業種一会員制の撤廃 2013年：職業のない人の入会資格を認める
- ・ロータリーのライオンズ化（団体寄付中心）I serveからWe serveへ
- ・2016年の規定審議会一柔軟性の採用  
{例会と出席} {会員身分} 標準ロータリークラブ定款の条項に従わない規定又は要件をクラブ細則に含めることができる
- ・2019年規定審議会 更なる柔軟性の確認  
メイクアップ期間を同じ年度内に拡大，職業分類の制限撤廃，ローターアクトクラブにRI加盟を認める
- ・何故ロータリーは柔軟性を採用したのか？→RIの危機感（会員の高齢化，減少）→北米，日本等での会員の減少とインド，ヨーロッパ，韓国での会員増加（別紙）→悪循環か？  
RIとTRFの一体化→{いずれライオンズクラブとの合併か？・地域に応じた自治権，裁量権を認める方阿？

#### 5 これからのロータリーについて

- ・ロータリーの目的，四つのテスト，中核的価値観（親睦，奉仕，高潔性，多様性，リーダーシップ）は不変
- ・ロータリーのビジョン声明，行動計画，DEI（多様性，公平性，包摂〔生〕）の提唱
- ・未来の形成委員会(SRF)→地区制度の見直し→内容は不明確（北米の会員の急減が実施の理由か） 2つのパイロット地区で実施（2022年4月規定審議会決議）

#### 6 アフターコロナの新しいロータリーはどうあるべきか

→例会及び奉仕活動の在り方クラブの多様化→衛星クラブ，女性だけのクラブ，若者や老人だけのクラブ等

元気なクラブ作りの支援のための方策→元気なクラブとは？→CLPの活用

- 1、クラブの中長期目標とその実現のための行動計画の策定（毎年の見直しとチェック）
- 2、会員同士の交流を深める（クラブ内のオープンなコミュニケーション・DEIの浸透を図る）
- 3、会員の積極的参加を促す（例会，奉仕活動）財団の補助金を利用して会員全員で奉仕プロジェクトを策定し，奉仕の意識を養い，それを実行する→参加したくなる例会と奉仕活動
- 4、会員の増強（退会防止）若い人達の入会が無ければロータリーは消滅する
- 5、クラブの若手リーダーの育成→クラブのロータリー研修の実施
- 6、ITの推進（コロナ禍での例会の在り方を再考する）

#### 7 最後に



人が生きるとしての事は

誰かに借りを返さなくては

その借りを返しては

誰かをしてもらったお返しに

誰かにしてあげよう

人が生きるとしての事は

誰かと手を繋ぐこと

その手のおもむきで

巡り合ふ愛し合ひをして別れた後に

悔まなうように今日明日を生きよう

人はひとりで生きていけない  
人はひとりで生きていけない  
人はひとりで生きていけない

オノノヒサシ  
カバネ